

平成 20 年 7 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 USEN  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宇 野 康 秀  
 (コード番号: 4842 ヘラクレス)  
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 紺 屋 勝 成  
 電 話 番 号 (03 6823 7015)

## 平成 20 年 8 月期連結業績予想の修正及び一時費用の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 16 日に公表いたしました、平成 20 年 8 月期（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、映画配給事業からの撤退費用、当社連結子会社である株式会社インテリジェンスの株価動向に伴う関係会社株式評価損及びのれん償却等の一時費用を当第 3 四半期において計上する必要が生じたのでお知らせいたします。なお、当第 3 四半期において計上する一時費用は事業の再編等に伴う一時的費用として当初想定していた金額の範囲内となっております。インテリジェンスの株価動向によっては平成 20 年 8 月期通期で計上する関係会社株式評価損及びのれん償却の金額が変動する可能性があります。これ以外の要因により当期末までに多額の一時費用を追加で計上する予定はございません。

### 記

#### 1. 平成 20 年 8 月期 通期連結業績予想の修正

##### (1) 通期連結業績予想数値の修正（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,950	120		
今回修正予想 (B)	2,850	120	55	590
増減額 (B - A)	100	0		
増減率 (%)	3.4%	0%		
(為参考) 2007 年 8 月期通期実績	3,012	159	86	30

##### (2) 業績修正の主な理由

平成 20 年 8 月期第 3 四半期において、当社グループの放送・業務店事業を中心とする主要事業は安定的に推移し、概ね計画通りの進捗状況にあります。一方で、平成 20 年 4 月 16 日に撤退の方針を公表いたしました映画配給事業において、当該事業を担う当社連結子会社である株式会社ギャガ・コミュニケーションズの映画配給売上が当初の想定を下回ったこと、また同じく連結子会社である株式会社 BMB の販売計画の変更により今期想定していた新商材の売上が来期へ持ち越されたことを主な理由として、平成 20 年 8 月期の通期連結売上高予想を 2,950 億円から 2,850 億円へ変更するものであります。なお、これによる通期連結営業利益予想の修正はございません。

また、当期期首及び中間決算発表時におきましては、事業再編を進める上で一時費用の金額を正確に見積もることが困難であったため、通期連結業績予想は営業利益までの開示とさせていただいておりましたが、当期に計上する一時費用について一定の目処がついたことから、経常利益及び当期純利益に関する通期連結業績予想を発表させていただくものであります。

## 2. 一時費用の計上

事業の再編及びインテリジェンスの株価動向に伴い、下記の一時費用を計上いたします。なお、当該一時費用の大部分は現金の支出を伴わないものであります。

## (1) 映像関連事業に関わる一時費用

平成 20 年 4 月 16 日に公表いたしました映画事業からの撤退の方針に沿って、株式会社ギャガ・コミュニケーションズの取締役会において、映画の新規買付、制作、出資等の事業からの撤退を本日決議いたしました。当該決議を受け、また当社グループのコンテンツ利用状況等を考慮し、映像コンテンツ事業において保有しているコンテンツ資産の評価、償却方法の見直し等により一時費用として特別損失を計上しております。当社グループは、今後多額のコンテンツ調達や制作負担等にかかるリスクを極小化し、メディア・プラットフォーム事業に対する経営資源の集中を進めてまいります。

## (2) インテリジェンスの株価動向に伴う一時費用

当第 3 四半期におけるインテリジェンスの株価動向に鑑み、平成 20 年 8 月期中間期において当社単体決算上計上いたしましたインテリジェンスに対する投資損失引当金に関して平成 20 年 5 月末の時価に基づき株式評価損を計上するとともに、保守的な評価を行う観点から当社連結決算上において単体簿価までのれん償却を計上しております。なお、インテリジェンスの株価動向によっては平成 20 年 8 月期通期で計上する関係会社株式評価損及びのれん償却の金額が変動する可能性があります。

## 連結決算における一時費用（第 3 四半期のみ）

特別損失		
コンテンツ関連損失	株式会社ギャガ・コミュニケーションズ保有コンテンツ	5 4 億円
	株式会社USEN保有コンテンツ	2 6 億円
	将来保有するコンテンツに関する損失見込額	2 0 億円
のれん関連損失	株式会社インテリジェンス	3 7 3 億円
	株式会社ギャガ・コミュニケーションズ	1 6 億円
その他		9 億円
特別損失合計金額（連結ベース）		4 9 8 億円

## 単体決算における一時費用（第 3 四半期のみ）

特別損失		
コンテンツ関連損失	株式会社USEN保有コンテンツ	2 6 億円
貸倒引当金繰入額	株式会社ギャガ・コミュニケーションズへの貸付に対する引当金	8 6 億円
関係会社株式評価損	株式会社インテリジェンス	5 4 億円
	株式会社ギャガ・コミュニケーションズ他	1 7 億円
その他		8 億円
特別損失合計金額（単体ベース）		1 9 1 億円

本お知らせにつきましては、本日発表の「平成 20 年 8 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」への詳細な記載はございませんが、投資家の皆様への情報開示として、お知らせいたします。

以 上